

◇ 平成28年度 事業報告

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

◇ 平成28年度の事業活動実績について報告致します。

1. 総括

平成28年度の事業活動は、全会員がIT業界における公益社団法人の一員であるとの矜持を持って結束して以下の諸活動を実施し、当初計画の目的である地域社会の高度情報化促進に寄与することができました。

事業活動を実施するあたり、公益目的事業の更なる拡充と従来事業の見直しを進める中で以下の方針を立てました。

情報化に関する調査・研究・研修・広報活動等の事業を実施し、県民が情報サービスの恵沢を広く享受できる環境づくりや、情報サービス産業の健全な発展を図ることにより高度情報通信ネットワーク社会の形成を推進して地域経済の発展及び公共の福祉の増進に寄与する。

この基本認識に基づき、各事業活動は、理事会、企画調査室、部会及び事務局がそれぞれ分担しながら企画を立案・実施し、その活動成果を本会会員並びに地域社会に提供し、地域経済の発展及び公共の福祉増進に寄与することができました。

2. 事業活動報告

大局的に調査・研究する企画調査室と事業分野毎に組織する5部会の活動を通じ、基本方針に掲げる事業活動を実施しました。

(事業活動担当組織名)

- | | |
|-------------|--------------|
| a. 企画調査室 | d. 広報部会 |
| b. 総務福利厚生部会 | e. 教育技術部会 |
| c. 事業企画部会 | f. コンソーシアム部会 |

(1) 情報サービスに関する調査及び研究に関する事業

平成28年度は、次の事業を実施しました。

①情報技術研究、調査に関する事業

A. ANIA(全国地域情報産業団体連合会)が主催する全国大会、総会、賀詞交

歓会、理事会、事務局長会議に参加し当協会の事業及び技術研究増進に役立てました。(4月7日、6月16、17日、9月15、16日、2月9日)

B. 千葉県内大学による卒業論文発表会

毎年県内理系大学の学生による卒業論文発表会を開催し、学生の勉学向上支援と、情報産業界、教育界、官公庁間の連携強化を図った事業を実施しています。本発表会は、異業界間連携だけでなく同一業界である教育界内の大学間交流や参加教員間の交流にも役立っており、毎年開催継続の要望が強く出ています。

平成28年度は、千葉県、千葉県地域IT化推進協議会、千葉市・千葉市科学フェスタ2016サテライトイベントの各団体の後援を得た事業となり、2月24日に開催しました。

(参加者計58名—教員11名、学生13名、官公庁2名、企業32名)

なお、発表校は以下のとおりです。(学校数・発表者数：5校、13名)

千葉工業大学、東京情報大学、東邦大学、日本大学、船橋情報ビジネス専門学校

発表内容は専門分野に及ぶものが多く、会場の人々の中には戸惑いを覚えている人も見られましたが、発表者に対する他校教官からの質問・コメント等の質疑が活発に行われ、有意義なものとなりました。発表者の態度・プレゼン技術については会場から多数の賞賛の声があがり、発表終了後に、当協会会長から発表各個人にその栄養を称えた表彰状が授与されました。

(2) 情報化に関する普及啓発及び促進に関する事業

平成28年度は次の事業を実施しました。

①情報システムの普及推進支援事業

A. ちばIT利活用フォーラム(11月9日)

千葉県地域IT化推進協議会と共催し開催しました。官公庁、当協会会員企業、会員外企業等の方々が総勢90名参加されました。

当日は、以下の講演、展示が行われました。

a. ビック・オープンデータの推進・活用について

千葉市総務局次長 大西 公一 氏

b. マイナンバーカードを活用した母子健康情報サービスについて

前橋市情報政策課課長補佐 五嶋 信広 氏

c. 超高速開発ツールによる開発事例の紹介

キャノンITソリューションズ株式会社

d. イノベーションを加速するIOT実践事例と富士通の取り組み

富士通株式会社

d. Pepper ビジネスへの取り組み

ちばぎんコンピューターサービス株式会社

e. パネル展示（まちづくりに資する ICT 活用ツールのご紹介）

NTT東日本株式会社

B. 社会人向けインターネット講習会（1月25～27日、2月8～10日）

例年開催している「一般社会人向けのインターネット講習会」を千葉会場（3回）、船橋会場（2回）、八千代会場（1回）の3か所で延べ6回開催しました。

千葉はNTT東日本富士見ビル、船橋は船橋情報ビジネス専門学校、八千代はTPSキャリアカレッジ八千代勝田台校の会場をお借りして開催しました。

また、講習会で使用する端末機は前年度に引き続きタブレットを利用し実施しました。昨年に引き続き大変好評を得た講習会となりましたが、参加希望者の応募総数が243名に達しましたが、端末機台数と会場の定員枠の制約があり、募集人員は千葉会場各30名、船橋会場各24名、八千代会場24名、合計162名とさせていただきました。

② 情報システム活用啓蒙推進事業

A. 講演会・セミナー等の開催

(ア)「賀詞交歓会セミナー」の開催

賀詞交歓会開催に合わせてセミナーを開催しました。

当日は、いすみ鉄道代表取締役社長 鳥塚亮氏を講師にお呼びし、「IT企業経営者に必要な発想の転換について」をテーマにご講演いただきました。講師の実体験を基に語られる熱意の籠った講演に参加者は熱心に聞き入っていました。内容の詳細は、当協会が発行しているCHISAジャーナル第36号をご覧ください。

（参加者数：128名）

B. 広報活動

(ア) 広報誌「CHISAジャーナル」

第35号(7月)と第36号(2月)を発刊しました。

新年号の第36号は、表紙を、緑の木々に囲まれた森林の中で子供たちを前に父親に肩車された少女の喜び溢れる笑顔が印象的な情景のものとし、未来に向かって羽ばたく当協会の姿勢をイメージした

ものとしています。また、紙面は写真を多用し、裏表紙に「知っ得★」と題した「お金の話シリーズ第2段」を掲載する等、“読み易さ”を前面に押し出したものとなりました。

(イ) ホームページ（情報発信）

情報伝達の有効手段として位置づけ、協会の情報開示や行事案内、業界動向、外部機関との連携情報等を掲載し情報発信をしました。

なお、ホームページ画面への広告掲載を、随時募集しております。詳細はホームページでご確認いただき、是非ご活用ください。

(ウ) 協会活動報告「協会だより」

当協会は、協会活動を周知するため定期的に標記報告書を作成しホームページに掲載して情報発信をしています。

協会だよりは、理事会開催の都度、同会の審議内容を報告するとともに、協会組織である各部会の活動状況をお知らせしており、平成28年度の発信回数は6回となりました。

(3) 情報サービスの人材育成及び確保に関する事業

平成28年度は次の事業を実施しました。

①情報サービスの人材育成に関する事業

A. CHISA実践型新人社員研修（実践型人材養成システム）の実施

新人社員を対象とした研修で、「CHISA実践型新人研修実行委員会」が中心となって教育訓練機関と連携して実施しています。

本事業は9年の実績があり、研修受講生間の同期意識が強化され他企業にも友人ができるという副次的な効果も出ており、毎年好評を得ています。平成28年度の受講者数は25社、81名でした。

B. 新技術調査研究会の活動

会員企業若手技術者の育成と同世代の企業交流を主目的とした活動で、毎年度初めに研究テーマを決定してチーム編成を行い、同チーム内で1年間共同研究させた新技術の動向を年度末に開催する「成果発表会」で発表させる事業です。

本年度は、前述した「千葉県内大学による卒業論文発表会」と同じ2月24日に同一場所で開催しました。

本活動は、平成28年度で14年目となり発表者は4チーム（8社、1

6名)、参加者は43名となりました。

平成28年度の研究テーマは、以下のとおりでした。

- a. Aチーム：タブレットの活用
- b. Bチーム：仮想化技術
- c. Cチーム：ドローン
- d. Dチーム：ドローンセキュリティ

業務を抱えながら忙しい時間を割いて研究調査した成果が実った素晴らしい発表が行われ、当協会会長から発表各個人にその成果を称え、表彰状が授与されました。

なお、本発表会は午前中に実施されましたが、午後から開催された卒業論文発表会に本発表会参加者が参加しその内容に感銘を受けていました。また、夕方開催された合同懇親会で新技術調査研究会の中堅社員と卒業論文発表会の学生や教官と会員企業間で交流を深め合いました。

C. 技術研修会の開催

前年に引き続き、技術者育成のための研修「CHISA情報通信人材研修」を技術系、業務系、管理系、ヒューマンスキル系の4分野に亘って開催し、計23コース、延べ229名の受講がありました。当研修会は毎年好評で、若手社員を中心に技術スキルアップのため活用されています。

②情報サービスの人材確保に関する事業

A. インターンシップ

インターンシップ事業を実施し、学生の企業就労体験を支援しています。本事業は平成28年度で16年目を迎えていますが、毎年参加を希望する学生が多いため学生と会員企業間で希望内容を調整するマッチング会を開催し参加を決定しています。

平成28年度は、6月16日のマッチング会で会員企業9社が45名の学生を受け入れ、7月中旬から9月下旬にかけてインターンシップを実施しました。

本事業の実施について、一部にマンネリ化の声があがっていたため、担当部会が主催し会員企業向けに意識調査を行った結果、多少経費増加があったとしても現在の形で事業継続を望む声が多くあったため、新年度も引き続き本事業を実施していくことが確認されました。

(4) 情報サービス産業の経営基盤の確立整備に関する事業

平成28年度は次の事業を実施しました。

①経営基盤の確立に関する調査、研究事業

A. 学生向け合同企業説明会の開催

学生向けの会社説明会を官公庁・他業態と共同で開催しました。当協会会員企業の参加数は28社となり、幕張会場での第1回説明会を3月7日に実施しました。なお、当説明会は今後、4月24日、5月15日の2回、開催を予定しています。また、参加企業は例年どおり県内理系大学の学内就職説明にも参加しましたが、年々、学校による選別が厳しくなる状況にあります。(3月参加とした学校は、日本大学、千葉工業大、東京情報大、船橋情報ビジネス専門学校の4校でした。

②会員の福利厚生向上に関する事業

A. CHISA総合共済制度「なのはな共済会」

なのはな共済会制度は、発足してから平成28年度で16年目を迎えますが、この間、共済会の加入者に充実した保障と各種福利厚生サービスを提供しその利便に供してきています。組織としては別法人の形をとっていますが、共済会会員の加入条件が当協会会員とされていることから、同共済会運営委員会に参画しそのサービス充実のための支援を行っています。

(5) 情報サービス産業の振興に係る国内外との交流及び連携促進に関する事業

平成28年度は次の事業を実施しました。

① 会員間、関連外部団体との交流・情報交換

A. 新春賀詞交歓会

新春に開催する交歓会で、会員企業、官公庁、学校、関連団体等が一堂に会し交流、意見交換を行う場を提供すべく開催しています。平成28年度は、1月20日に開催し141名の参加を得ました。(来賓18名、会員61社、123名)

B. 会員企業懇親会

部会等の活動組織はその内部での交流が盛んですが、部会間の交流が少ない等の理由から、交流の少ない会員企業間の交流を深める目的で毎年開催しており、平成28年度は10月14日に37社51名の参加を

得て開催しました。

C. スポーツ大会等

前年度に引き続き、会員交流を目的としたスポーツ大会等を開催しました。実施内容は以下のとおりでした。

- a. 軟式野球大会（6月～10月、5チーム）
- b. フットサル3情産協団体対抗頂上戦（5月28日、9チーム）
- c. CHISAフットサル大会（6月25日、24チーム）
- d. CHISA懇親ゴルフ大会（6月7日、28名）

D. 「CHISA&JIET&シー・ソフトウェア3団体合同商談会」の開催

会員間の交流の絆を深め、併せて会員増強を目的としてJIET、並びにシー・ソフトウェアと共催して商談会を開催しました。3団体加盟会員に限らず多くの方々に参加を呼びかけました。

当日は、専門家による「営業職向けセミナー」を開催して営業ノウハウを修得していただき、その後「商談会を」「名刺交換会」を行い、懇親会で企業間交流の絆を深めていただきました。

※JIET：特定非営利活動法人 日本情報技術取引所の略称
(開催日) ・平成28年7月14日
(会場) ・幕張テクノガーデン会議室
(参加数) ・69名(会員29、会員外40)

E. 「CHISA&JIET&シー・ソフトウェア合同若手交流会」の開催

上記商談会に続き、若手の交流を目的として3団体が合同して若手交流会を開催しました。

(開催日) 平成28年9月16日
(会場) すみだ産業会館
(参加数) ・70名(会員8、会員外62)

F. 「公益財団法人千葉市産業振興財団開催セミナー」の後援

千葉市産業振興財団が実施するビジネスプラン発表会「第15回ベンチャー・カップCHIBA」を後援し、同財団との交流促進に努めました。

(開催日) 平成28年11月22日
(会場) 三井ガーデンホテル千葉
(参加数) 134名

G. 他県協会との交流会の開催

昨年に引き続き、東京、神奈川、埼玉、山梨、千葉の情報サービス産業協会5団体で組織する「首都圏情報団体連絡協議会（略称：メトロ）」に参加し、情報交換等をおして当協会の発展に寄与しました。

なお、3月3日開催の幹部会議において、当会への入会希望が出ていた「福島県情報産業協会」と「茨城県情報サービス産業協会」の2情報産業団体の加入が承認され、参加数が7団体となりました。

また、別途、「新潟市ソフトウェア産業協議会」から加入希望が出ているとのことで、新年度はオブザーバー参加させ、次回幹部会で加入審議すること、近隣の「栃木県情報サービス産業協会」にも入会打診することが決議されました。

・事務局会議開催日：7月1日、11月14日

・幹部会議開催日：3月3日

・メトロエリアグリーンゴルフ大会：10月25日

（当協会は、団体戦で2位となりました。参加42名）

②連携促進事業

A. 首都圏情報団体ビジネス交流会2016

毎年、標記団体に参加している東京、埼玉、神奈川、山梨、千葉の情報サービス産業協会が共同して開催する企業ビジネス交流会で、各社の製品紹介・ブースでの商談会を行い、その後交流を深めるための懇親会を開催しています。

平成28年度は、10月13日に東京都情報サービス産業協会に主幹事を務めていただき、千代田区の如水会館で開催しました。

（出展企業10社、参加者総数93名、内当協会33名）

③外部団体・委員会

平成28年度は下記の団体に加盟し各種の会合等に参加する他、関係団体の運営協議会に参画し活動しました。

A. 団体への加盟

- a. 情報サービス産業協会（JISA）
- b. 全国地域情報産業団体連合会（ANIA）
- c. 首都圏情報団体連絡協議会（メトロ）
- d. 千葉県地域IT化推進協議会
- e. 首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議
- f. 千葉社会保険協会

B. 運営協議会への参加

- a. 高度職業能力開発促進センター第1回運営協議会（6月28日）
- a. 高度職業能力開発促進センター第2回運営協議会（12月15日）

④各種支援事業の推進

A. 先進的技術研修事業（実践的IoT開発技術研修）

千葉県産業振興センターの支援を受けて標記研修会を開催しました。

（受講者数：18名　開催日：7月25、26、8月8～10日）

B. 地域活性化事業

情報サービス産業協会の「地域経済の活性化」を図る目的に賛同し、引き続き「IT技術研修」を実施しました。

以上